

令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	95. 国際理解促進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	1,686	実施計画	第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	5,770
							基本施策2 平和・国際化	令和3年度 1,763
								令和4年度 2,008
								令和5年度 1,999
							施策2 多文化が共生できる地域づくりを推進します	令和6年度 0
								令和7年度 0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								0

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・佐倉日蘭協会の活動支援 ・佐倉日蘭協会助成補助金の交付</p>	<p>(事業の目的) ・佐倉日蘭協会を支援することにより、市民による国際交流の推進を目的としています。 ・佐倉・オランダ児童交流により、市民や子どもたちが直接オランダの人々と触れ合うことを目的としています。 ・オランダや蘭学に関する各種事業により、佐倉とゆかりのあるオランダについての市民の関心や理解を深めることを目的としています。</p>	<p>(事業の効果) ・市民による交流を推進することにより、行政にはできないきめ細かい対応や、人と人の深いつながりが生まれます。 ・オランダの人々と直接交流する体験により、市民や子どもたちのコミュニケーション力や異文化理解、多様性を受け入れる力が育ちます。 ・オランダや日蘭交流の歴史をひとつの例として理解を深めることにより、佐倉ならではの方法で、国際化を推進する環境をつくります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 佐倉日蘭協会の主要事業であり、補助金の算出の根拠となる佐倉オランダ児童交流事業は、特に旅費(航空運賃)が航空券発券時の国際情勢等に左右されるため、補助金額の算出が困難な面があります。なお、新型コロナウイルスの収束見通しがたらず、事業実施の判断が困難な状況です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 令和3年度は、オランダへ児童を派遣予定です。昨年度見直しを行った補助金要綱に合わせ、会議時の食糧費を差し引いて積算しました。</p>	<p>(見積についての特記事項) 新型コロナウイルス感染症の影響により、現状では旅行会社から見積を徴することが難しいため、前回派遣時(令和元年度)の見積及び実績を参考に積算しています。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								0	0	0	0